

SMF アート寺子屋 2014 アートプラットフォーム形成のためのメタデザインII

Vol.3

# 食と現代アートの 融合がもたらすコト

2014年12月13日(土) 13:00~17:00(出入り自由)

埼玉大学教育学部D棟1階「プロジェクト室」

入場無料 定員50名 先着順(事前申込不要)

私たちは昔から「食」を通じて様々な営みを続けてきました。食べることは他の命を得て生かされるということであり、数多ある儀式もまた「食」がメディアとなります。人は食を単なる生命維持に留め置かず、身体を通じたコミュニケーションとして多様な創造性を発揮してきました。他方、現代アートは「食」をメディアとする表現の更新が進み、その世界が拡大しています。

Vol.3では、3人のパネラーにそれぞれ活動について発表していただき、食と現代アートの融合について語り合います。この奇妙な邂逅が、新たなステージへの扉を開くことを目指して…。

パネラー:

増田拓史(美術家)

木村文吾(写真家)

野本翔平(パフォーマンス・アーティスト、SEED代表、SMF運営委員)

コーディネイター:石上城行(彫刻家、SMF運営委員)

主催:あなたとどこでもアート実行委員会/SMF(Saitama Muse Forum)  
〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 9-30-1 埼玉県立近代美術館内  
問合せ:あなたとどこでもアート実行委員会事務局  
Tel. 048-824-0110 e-mail: info@artplatform.jp 担当(中村・大越・五味)まで  
当日問合せ:埼玉大学教育学部美術教育講座石上研究室  
Tel. 090-5264-4335 Fax. 048-858-9299  
e-mail: fzzz@meil.saitama-u.ac.jp 担当:石上城行

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し  
再創造するプラットフォームをめざしています。

<http://www.artplatform.jp>

同時開催

## 記憶の海苔巻 ワークショップ

講師:増田拓史

あなたの思い出のある「おかず」  
を1品お持ちください。ご持参頂いた  
食材を具に海苔巻を作ってみんなで  
試食します。

### ●持参する物

- ・思い出や、記憶に残っている  
ストーリーのある「おかず」1品。
- ・エプロンなど料理する装い。

SMF (サイタマ・ミュージアム・フォーラム)は、建築家、現代美術家、モダンダンサー、現代音楽作曲家、俳人、詩人など多彩なアーティストや、美術教員、学芸員、アートを通じて地域活動を展開する市民などによって構成されている集団です。埼玉県立近代美術館をキーステーションとし、入間市博物館アリット、うらわ美術館、川口市立アートギャラリーアトリア、川越市立美術館など、県内のミュージアムや、大学、アートNPO等とゆるやかに連携しながら、活動を展開しています。多彩なメンバーがそれぞれのスキルやヴィジョンを持ち寄り、アートを軸としたプラットフォームを形成することを目的とした活動を2008年より行っています。その過程で多くの交流が生まれ、いくつかのアートイベントが県内に定着しつつあります。

アート寺子屋2014は「あなたも今日からアーティスト」「小さな家の大きな拡がり」「食と現代アートの融合がもたらすコト」の3つのテーマによる構成となっており、アートを人間の特別な精神活動としてではなく、私たちの生活と共にある行為として位置づけていくための新たな視点を、多様な活動報告やディスカッションを通してあぶり出してきました。アートを通じて何かを変えたい人、アートに触れることで変わりたい人、いわゆる専門家だけではなくアートに興味をお持ちの全ての方々と共に考える場となることを願います。

#### 増田拓史 (美術家)

1982年生まれ。横浜美術短期大学卒業。横浜を拠点に活動した後、現在は宮城県石巻市に拠点を置き活動している。特定のコミュニティや地域をリサーチし、作品を制作している。その手法として近年では、日常の家庭料理にフォーカスをあて、個人々の出自や地域性を再発見し後世に伝える食堂プロジェクトを、地域の方々と協働しながら展開している。主な活動に、2014年「大館食堂／大館・北秋田芸術祭2014」(秋田)、2013～2014年「前橋食堂／アーツ前橋地域アートプロジェクト」(群馬)、2011年「代官山食堂／代官山インスタレーション 2011」(東京)、2011年「黄金食堂／黄金町バザール 2011」(横浜)、2010～2011年「Treasure Hill Artist Village Public Art Project」(寶蔵巖国際芸術村／台北・台湾)など。

#### 木村文吾 (写真家)

1974年奈良県生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業。食関連のコマースを中心に、アウトドア雑誌、旅行誌などの撮影に携わる。生産者のポートレートを通して食の背景へ視線を向けた『beyond the dish』で、KAWABA NEW-NATURE PHOTO AWARD 2013「フードとネイチャー」部門賞。他、日本独自の曆に沿って、食をめぐる季節感を喚起させる試み「ヒビノクラン」。器と料理という関係の中にある「生きる」というテーマに向き合うプロジェクト「LIVE 器と料理」。「食」というテーマの中にある「生きる」ということの在り様を、写真というメディアを通して触発する。

#### 野本翔平 (パフォーマンス・アーティスト、SEED代表、SMF運営委員)

1984年埼玉県行田市生まれ。専修大学哲学科卒。地元の若者たちと地域の文化振興を目的とした団体SEEDを結成し、音楽イベントや演劇ワークショップなどを定期的に開催している。2011年には行田市議会議員選挙に立候補(次点で落選)。2014年よりNPO法人CILひこうせんのアート事業担当職員を務める。2008年12月より毎月一回開催し続けているパフォーマンスイベント「バン屋会」では、会場であるバン屋の店主によって毎回料理が一品振舞われ、みんなで食べる。

#### 石上城行 (彫刻家、SMF運営委員)

1968年東京生まれ。学生時代からテラコッタによる彫刻作品を制作・発表する活動を展開、近年は記憶をテーマに家型のオブジェを制作している。2000年代より創作活動と併せて様々なアートプロジェクトやワークショップに携わるようになる。今回はアーティストの視点から食とアートの融合がもたらす可能性を探る。

埼玉大学教育学部D棟1階「プロジェクト室」

〒338-0825 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

アクセス:

JR京浜東北線「北浦和」西口、バス「埼玉大学行」約15分

JR埼京線「南与野」北口、バス「埼玉大学行」約10分

東武東上線「志木」東口、バス「南与野駅西口行」約20分

※詳細は埼玉大学のHPをご覧ください。 <http://www.saitama-u.ac.jp/access/>

## 本年度開催した寺子屋

### Vol.1:あなたも今日からアーティスト

2014年6月22日(日) 13:00～17:00

埼玉県立近代美術館講堂

パネラー:毛利嘉孝(社会学、東京芸術大学准教授)

竹本清香(合資会社芸力代表)

三ツ木紀英(アート・プランナー、認定NPO法人  
芸術資源開発機構副理事長)

コーディネイター:柴山拓郎(作曲家、SMF運営  
委員)、三浦清史(建築家、SMF運営委員)

### Vol.2:小さな家の大きなひろがり

2014年7月12日(土) 13:00～17:00

埼玉県立近代美術館講堂

パネラー:中村好文(建築家、日本大学教授)

中里和人(写真家、東京造形大学教授)

石上城行(彫刻家、SMF運営委員、埼玉大学准教授)

コーディネイター:青山恭之(建築家、SMF運営  
委員)

主催:あなたとどこでもアート実行委員会／SMF (Saitama Muse Forum)  
〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 9-30-1 埼玉県立近代美術館内  
問合せ:あなたとどこでもアート実行委員会事務局  
Tel. 048-824-0110 e-mail: info@artplatform.jp 担当(中村・大越・五味)まで  
当日問合せ:埼玉大学教育学部美術教育講座石上研究室  
Tel. 090-5264-4335 Fax. 048-858-9299  
e-mail: fzzz@meil.saitama-u.ac.jp 担当:石上城行

